

## 野外教育活動

豊橋市立松葉小学校

PTA 広報部

令和4年度 No.7

6月30日(木)・7月1日(金), 両日とも最高気温34度の真夏日, 5年生の子どもたちはたくさんの荷物を持ち, 野外教育活動へ元気に出かけていきました。



必要な荷物は, すべて自分で確認してカバンへ準備するんだ!

▼入村式で野外教育センターのかたからの説明を真剣に説明を聞く子どもたち



入村式を終え, 宿泊棟で荷物を下ろし, 持参したお弁当を食べ終わったら, レクリエーションのため, 砂浜へ向かいました。砂浜では川で涼んだり, 班ごとにバレーボールで何回パスをつなげられるか挑戦したりしました。

### 夕食作りのスタート



牛乳パックに火をつけようとしたのですが, 炊事場には風があり, チャッカマンでもなかなか火が付きませんでした。その火を絶やさぬように木を足していきました。無洗米を使い飯ごうでご飯を炊くことと, レトルトカレーを温めるだけのはずが, 簡単にはできませんでした。暑さもあり, 慣れない作業が続き, 苦労した班がたくさんあったようです。やっと夕食を食べ

終わった後もご飯がこびりついた飯ごうなどの片づけをしました。疲労もたまっている中で, チームワークが試されました。

食事作りがとても大変なことがわかりました。いつも作ってくれる家族に「ありがとう」を言いたくなりました。



## キャンプファイヤー



早めの入浴を終え、空が薄暗くなってきたころ、多くの先生がかけつけて下さり、広場の中心に火がつけられました。大きな一つの火を囲み、ゲームやダンスを仲間全員で楽しむわくわくタイムです。伝言ゲームでは『昭和、平成、令和』のはずが『昭和、マッチ、令和』等の珍回答も出て、大爆笑だったそうです。

他には命令ゲーム、マジカルバナナも楽しみ、ジンギスカンを学校で練習した振付で踊りました。気分はあがっていき、器用にソーラン節の振付を合わせてくる子、思い思いのオリジナルダンスをする子もいました。先生も迫力のトーチトワリングを披露、子どもたちにとって特別な夜になったようです。



就寝の時間が近づいてきました。早めのご飯だったので、キャンプファイヤーでお腹がすいた子どもたちは夜食のジャムパンとジュースでほっと一息つきました。そして、班長と副班長は今日の反省と明日の準備の為に班長会へ参加しました。

～21時30分、消灯～

## 二日目の朝食作り



カートンドックに挑戦しました。アルミホイルで包んだホットドックを牛乳パックの中に入れて火をつけます。牛乳パックが燃えつきたら完成です。丁度よく焼けた子もいれば、焦げてしまった子もいたようです。それでもみんな残さず食べました。

朝食後、一晚使用した布団をきれいに畳みます。野外教育活動へ行く前にも、センターから布団をお借りし、体育館で畳み方を練習していきました。当日は練習の時より量が多く、掛け布団、毛布、敷布団、シーツ2枚、まくらを合格が貰えるまでぴしっときれいにたたみ直しました。

### フィールドワーク



布団をたたむのに予想以上に時間がかかり、予定より45分遅れでフィールドワークが始まりました。前日に配られた地図を頼りに、班ごとにゴールを目ざして進みます。予定していたコース範囲を縮小したとはいえ、スタートした途端に急な坂道ときつい階段が、子どもたちに襲いかかります。そこを乗り越えればあとはなだらかなサイクリングコースです。

途中の分かれ道ではどちらに進めばよいか迷ってしまったグループもあったそうです。班長がリードし、困った時はみんなで助け合いました。フィールドワーク中には、チョウチョやハチ、ヘビを見かけた子もいたようです。無事にゴールし、口にしたポッキンアイスはとても美味しかったです。お弁当には、おにぎり・ウインナー・卵焼き・からあげを食べました。

### 奉仕作業・退村式

「来たときよりもきれいにしましょう」と、子どもたちは疲れが見えるもののお世話になった寝室、食堂、トイレのそうじに一生懸命取り組みました。退村式では、代表児童が二日間の感想や感謝の気持ちを述べました。

▼退村式の様子



### 帰宅した子どもたちから感じたこと ～保護者より～

- 自分のことを自分でし、仲間の中で自分の役割を果たせるか心配していましたが、帰宅後にたくさんの体験談を聞き、成長したと感じました。
- 初めての宿泊行事で心配でしたが、食事の準備やシーツの片づけなど大変

なこともある中で、楽しいエピソードを沢山教えてくれてほっとしました。

- 重たいバックを肩にかけてふらふらしながら歩いていく姿に心配しましたが、「楽しかった」と暑さに負けずに元気に帰ってきたときはほっとしました。
- キャンプファイアーでは、たくさんの先生方のご協力のおかげで楽しく過ごすことができたようで、本当に感謝いたします。
- 行く前の準備のときに、子どもが何度も資料を見て持ち物チェックをしたり、段取りを読み込んで行動の確認を念入りにしていました。親がいない分、しっかり行動しなければならない事を自覚しているように感じました。
- 家では経験できないことを友達と一緒にたくさん経験し、浜辺で拾った貝殻をお土産に持って帰ってきてくれました。嬉しそうに話してくれる姿にこちらも嬉しくなりました。
- 行く前は親の方が色々な心配をしましたが、帰宅後、いろいろな話を聞かせてくれる子どもを見て“親が思っているより成長してたんだなあ”と感じました。
- 弾ける笑顔で思い出を話してくれました。大変な体験を経て、帰宅後の生活の中でも『これ位できるよ。』と頼もしい姿を見せてくれてます。野外教育活動のすばらしさを感じています。

等

二日間の野外教育活動を通して、多くの学びと体験ができたようです。この経験をいかして、さらに成長する5年生がとても楽しみです。

(ホームページ作成担当 向井 淑恵)